

茶道を体験する米軍人の奥さんたち



米軍人の奥さんが茶道体験

佐世保・長崎短大 基地関係者招く

佐世保市椎木町の長崎短期大(安部恵美子学長)は23日、米海軍佐世保基地の軍人の奥さん約30人を招き、茶道体験会を開いた。同大は「茶道文化」が必修科目。日本文化に触れてもらおうと毎年、基地関係者を招待している。

同大で教える「鎮信流は武士のたしなみとして広まったとされ、教員が「サムライスタイル」と紹介。国際コミュニケーション学科1年生の約30人がお茶のたて方や飲み方を手ほどきした。

シャロン・ペンロードさん(48)は「おいしい。日本の伝統文化を知る貴重な体験になった」と笑顔。お点前を披露した宇野ゆうみさ

ん(19)は「礼儀作法が美しいと言われました。茶道に興味を持ってもらいうれしかった」と話した。

米兵の妻30人招き交流 長崎短大で茶道体験

佐世保市椎木町の長崎短期大で23日、米海軍佐世保基地の米兵の妻約30人を招いて茶道を体験する交流会があり、学生がお点前を披露



お茶たて体験を楽しむ米国人女性(左) =佐世保市、長崎短大

して親睦を深めた。同短大は、茶道を全学生の必修科目としている。交流会は茶道を広く紹介しながら、学生に英会話をする機会をつくらうと初めて企画。国際コミュニケーション学科1年生約30人が参加した。

学生たちはお点前を披露した後、6班に分かれて茶の飲み方や礼儀作法を英語で説明。米国人女性はお茶たての体験を楽しみながら日本の伝統文化を学んだ。

参加したシャロン・ペンロードさん(48)は「素晴らしい体験だった。学生はとてもフレンドリーで楽しめた」と笑顔。同科1年の宇野ゆうみさん(19)は「人前でお点前を披露する機会はありませんので緊張した」と話した。(宮本宗幸)